

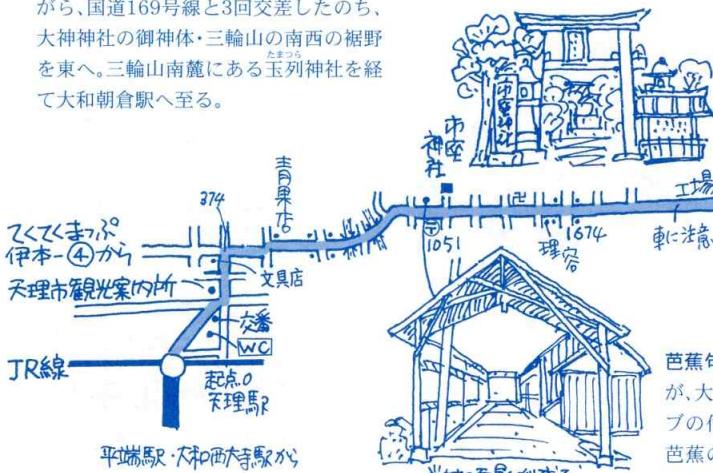
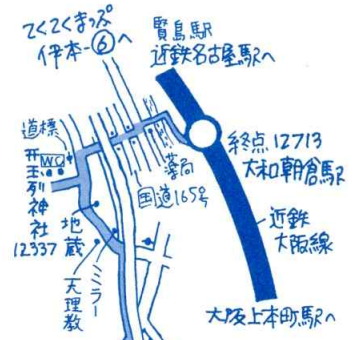
- 大阪難波駅から天理駅まで約1時間（大和西大寺駅のりかえ）
- 京都駅から天理駅まで約1時間
- 近鉄名古屋駅から天理駅まで約2時間30分（大和八木駅まで特急利用、大和八木駅・平端駅のりかえ）

コースのあらまし 前の行程に続いて全般に平坦な道。近世の市跡・丹波市から古代の市跡である海柘榴市を経て、初瀬街道に入るコース。移設されたものが多いが、道の随所に太神宮などの文字が刻まれたおかげ燈籠（常夜燈）が残る他、柳本古墳群の黒塚古墳、箸中古墳群の箸墓古墳など、見どころも多い。南下しながら、国道169号線と3回交差したのち、大神社の御神体・三輪山の南西の裾野を東へ。三輪山南麓にある玉列神社を経て大和朝倉駅へ至る。

市座神社 俄かに道幅が広がり、昔のアーケードとも言うべき屋根掛けが残るなど、かつての市場町の名残を見せる丹波市。その屋根掛けの南東にある市座神社は市場の神様。境内には付近の街道筋から移設されたいし大小の伊勢燈籠の他、不思議な穴の開いた、青砥石という巨大な一枚岩も。毎年1月8日には商売繁盛を祈る「八日恵比須祭」で賑わう。



黒塚古墳 長大な竪穴式石室から33面もの三角縁神獣鏡が発見された、3世紀後半から4世紀にかけての前方後円墳。築造当初を偲ばせる美しい姿で、その後円部頂上に登れば、大和三山なども遠望できる。そばには、石室復元模型や銅鏡のレプリカが展示された黒塚古墳展示館（無料）があり、トイレ休憩も。

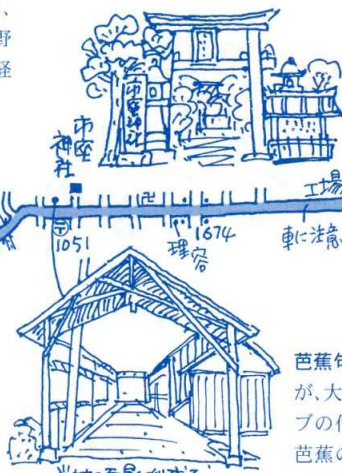


伊勢への道 この伊勢本街道は今の大阪市内から、生駒山暗峠→奈良→桜井→榛原→室生を経て伊勢へ向かう全長160km余。このほか伊勢本街道から榛原で分岐してほぼ近鉄大阪線に沿う伊勢表街道（初瀬街道）、吉野川沿いに大淀→吉野→高見峠を越えて最後は伊勢本街道に合流する伊勢南街道などがあつた。天理から古代の上ツ道を下り、大和川（初瀬川）手前で、伊勢表街道（初瀬街道）に合流する。

ハイキングのエチケット

- *ゴミはまとめて持ち帰りましょう。山火事防止のためタバコに注意しましょう。
- *大切な自然です。植物の採集はつしめましょう。

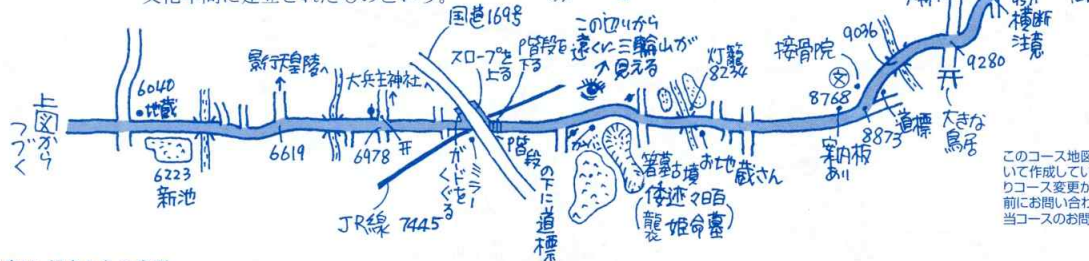
きれいな思い出 きれいな自然
ゴミヤキ缶は、持ちかえりましょう



当時の面影が残る市座の木造建築物

芭蕉句碑 まっすぐ南進して来た道が、大きく東に曲がる、ちょうどカーブの付近、八坂権現の少し先に松尾芭蕉の句碑がある。小ぢんまりした藤棚の下、芭蕉が高野、紀伊、大和などを巡って著した旅行記「笈の小文」にある「草臥れて宿かる比や藤の花」の句が刻まれた自然石。江戸時代の文化年間に建立されたものという。

五智堂 この上街道の東にある山の辺の道の、さらに東に位置する長岳寺。その飛び地境内に残る小さなお堂。太い1本の心柱の上に屋根が載っているため、傘堂とも呼ばれる。心柱の四方には梵字をきざんだ額がかかり、周囲の4本の細い柱は補助の支柱。すぐそばにある常夜燈には、太神宮と天満宮の文字。



- 地図内の数字は、起点からの実測距離（メートル）を表わしています。
- 約13キロ（天理駅～市座神社～黒塚古墳～玉列神社～大和朝倉駅）

恵比須神社 日本で最初の市場・海石榴市の守護神と言われる。「三輪の初市」と呼ばれる2月6日のえびす市祭は現在でもにぎやか。宵宮には、巨大な彫刻の鯛を引く「鯛引き行列」が町内を練り歩く。付近には稲妻型と言われる曲がりくねった細い道が続き、大和格子のある古い民家も多く残る。

- コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の個所があります。

新たな特典など、さらに充実!
近鉄 あみま倶楽部 会員募集中!
（年会費1,000円）
詳しくは、駅置きのチラシをご覧ください。

このコース地図は2015年11月1日調査に基づいて作成しています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。
当コースのお問い合わせ＝近鉄 大阪ハイキング係 電話(06)6775-3566

企画・発行＝近畿日本鉄道(株)
制作・印刷＝(株)アド近鉄
イラストマップ＝鈴木卓人
※無断転写禁止。

伊勢参宮5 天理の町並みから古墳巡りコース

